

清水高原から約45分くらいのところに、中学校の同級生がやっている喫茶&レストランの店がある。

清水高原は松本盆地の西側にあるのに対して、友達の店は、アルプスが望める東側にある。店名も「アルプ」とわかり易い、村井駅より東、寿団地を超え松原団地の南に位置し、通りに面した店の前には、アルプの看板とコーヒーカップから湯気を出している置物があるので比較的分かり易い。

オーナーの同級生は、コック一筋で半世紀となる。店の看板と言える事は、彼自身が、元旦1日のみが定休日での364日の営業を30年以上も続けてやって来たと言う事にある。



<店内カウンター席>

客席は、カウンター席が数席とテーブル席が四人掛けが5テーブルとなっていて時々満席に近い状態になる。

店では、マスターと呼ばれていることが多い彼だが、店の棚という棚には、高そうな胡蝶蘭がところ狭しと置かれている。

看板メニューはいろいろありそうですが、「ナポリタン」は、なかなかのしろものである。私の学生時代(40数年前)に、スパゲティー専門店が今より多くあり、ミートソース他いろいろの種類スパゲティーがあり、よく食べにいった記憶がある。最近ではイタリアレストランが多くなり、そこでもいろいろ食べてはいるが



<後ろに胡蝶蘭>

アルプのナポリタンは、昔から同じに作って出していたのが、今となっては昔ながらのナポリタンとなってしまった見たいですが、ボリュームといい、食感・味といい、何とも言えないほっとするひとときを演出してくれる。

<追記>

5月になって、咳が長い期間ともらない時に、思いきって(ダイエット中)カツカレーを頼んで食べましたが、そのカツの厚さが、カレーとあった一品で、元気をおおいにもらいました。

歳時記ホームはこちら

<http://www.go.tvn.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>



<昔ながらのナポリタン>